

ランチョンセミナー3

株式会社モリタ協賛

進化するエンドドンティックモーター

外賀 泰

KIX DENTAL OFFICE

NiTi ロータリーファイルが市場に投入され時が流れ、歯科医師にも認知され、当たり前のように日常臨床に用いられるようになった。

近年、新しいファイルのトレンドはファイルの破折がしにくく、また根管に追従する形状記憶ワイヤー（マルテンサイト相）を利用したものとなっている。

そのようなNiTi ロータリーファイルの新しいトレンドに対して、エンドドンティックモーターに新しいトレンドはあるのか？

近年のエンドドンティックモーターのトレンドは高機能化だと考えられる。

他社からも、もちろん高機能化されたエンドドンティックモーターが発売されているが、国内市場において、昨春発売された TriAutoZX2 には根管長測定機能が組み込まれており、さらに2つのレシプロケーティングモーションによって、高い精度で作業長を決定しつつ、スピーディーでより効率的な根管形成を行うことが可能となっており、市場でとても人気となっている。

では、その「レシプロケーティングモーション」は何のために開発されたのか。

今回は、利点、欠点を含めて、エンドドンティックモーターの駆動方式すべてと主要なシーケンスについて解説していきたい。

2004年 大阪歯科大学卒業

2014年 CE セミナー（月星 光博主宰）OB 会役員

2016年 KIX DENTAL OFFICE 開設